

土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際は、土砂災害に注意してください

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、土砂災害から身をまもるために国民の皆様を知っていただきたい3つのことについてお知らせします。

台風や大雨に備えて

①お住まいの場所が、土砂災害警戒区域か確認する。

過去に発生した土砂災害の実績による指定基準を基に、都道府県では土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」として指定を進めています。

普段からお住まいの場所が土砂災害警戒区域に指定されているか、国土交通省砂防部のホームページ

(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosya_kiken.html)などで確認しましょう。あるいはお住まいの市町村役場に問い合わせください。

*現在、土砂災害警戒区域の指定が完了していない箇所もありますので、併せて土砂災害危険箇所かどうか確認してください。



雨が降り始めたら

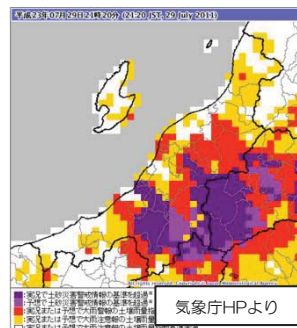
②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ、(<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>) 国土交通省砂防部のホームページ、(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sabo_ken_link/index.html)

各都道府県の砂防課などのホームページなどで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご活用ください。

土砂災害警戒判定メッシュ情報



テレビ報道



出典：政府広報オンライン

豪雨になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。

また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。

お住まいの自治体の避難勧告などの情報に注意して、早めの避難を心がけましょう。

なお、豪雨などで避難所への避難が困難なときは次善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などの少しでも安全な場所に移動しましょう。



避難